

他都市の指標一覧

参考資料3

各政令市の環境基本計画に設定されている指標を次期千葉市環境基本計画の区分に合わせて整理【R3.4.1現在】
※6区分に分類 ・【温暖化対策】【資源循環対策】【自然保護対策】【生活環境対策】【参画対策】【その他】

政令指定都市	指標				
	温暖化対策	資源循環対策	自然保護対策	生活環境対策	参画対策
北海道札幌市	・札幌市内から排出される温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減 ・札幌市内の電力消費量のうち、再生可能エネルギー消費量を30%	・市内で排出されるごみの量を大幅に削減し、資源の消費抑制を図る	・生物多様性に対する市民の理解度を80%に（2015年は33.7%）	・大気環境、騒音、河川等公共用水域における環境基準を100%達成	・多くの市民が本計画で目指す「持続可能な都市」について理解し、自ら行動している ・北海道内の資源やエネルギーの地産地消を促進するため、札幌市と道内自治体をはじめ、様々な主体による連携が普及している
宮城県仙台市	・令和12年度(2030年度)における温室効果ガス*排出量を平成25年度(2013年度)比で35%以上削減(森林等による吸収量を含む)します ・令和32年(2050年)温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します	・令和12年度(2030年度)におけるごみ総量を33万トン以下(令和元年度(2019年度)比で12%以上削減)にします ・令和12年度(2030年度)におけるごみの最終処分*量を4.6万トン以下(令和元年度(2019年度)比で12%以上削減)にします ・令和12年度(2030年度)における1人1日当たりの家庭ごみ*排出量を400グラム以下(令和元年度(2019年度)比で14%以上削減)にします ・令和12年度(2030年度)における家庭ごみに占める資源物の割合を30%以下(令和元年度(2019年度)比で12.5ポイント以上引下げ)にします	・みどりの総量(緑被率*)について、現在の水準を維持・向上させます ・生態系の頂点に位置し、良好な里地里山環境の指標となる猛禽類*(オオタカ・サシバ)の生息環境を維持・向上させます ・身近な生きもの(9種)について、全ての種における市民の認識度※を現在よりも向上させます	・大気や水、土壌などに関する環境基準※(二酸化窒素※についてはゾーン下限値)を達成します。 ・市民の「環境に関する満足度」(8項目)について、全ての項目における満足度※を現在よりも向上させます	・日常生活における市民の環境配慮行動(25項目)について、全ての項目における実践割合※を現在よりも向上させます
埼玉県さいたま市	・温室効果ガス1人あたり排出量(t-CO2) ・市域の再生可能エネルギーなどの導入量(TJ) ・家庭部門における温室効果ガス排出量(市民)(t-CO2) ・産業部門・業務部門における温室効果ガス排出量(事業者・行政)(t-CO2) ・市役所の事務事業における温室効果ガス排出量(行政)(t-CO2) ・市内の乗用車の新車登録台数に占める次世代自動車の割合(%) ・太陽光発電設備等を導入した施設(公民館)(館) ・公共施設への再生可能エネルギー等の導入(電力の地産地消) ・再生可能エネルギー等の導入施設数(施設) ・「生活支援サービス」の実装数(事業) ・適応策に資する事業数(事業)	・市民一人一日あたりのごみ排出量(g) ・ごみの総排出量に対する最終処分比率(%) ・市民一人一日あたりの家庭系ごみ排出量(g) ・事業系一般廃棄物排出事業者への啓発・指導件数(件) ・焼却灰及び飛灰の資源化率(%) ・不法投棄情報通報協定件数(件)	・水辺や緑地の保全・再生活動に関心がある市民の割合(%) ・自然観察・環境学習会に参加して生物多様性について理解した参加者の割合(%) ・オープン型緑地の整備率(%) ・水辺のサポート制度登録団体数(団体)	・生活環境(空気・水のきれいさ、静けさ、におい・かおり)に満足している市民の割合(%) ・大気汚染物質の環境基準達成率(%) ・水質汚濁に関わる環境基準達成率(公共用水域の測定計画地点7 地点)(%) ・景観重要建造物・樹木の指定件数(団体)	・環境に配慮した行動を実施している市民の割合(%) ・こどもエコ検定に取り組んだことで環境について児童が興味を持った学校の割合(%) ・市と連携して環境教育・学習の推進に取り組む民間事業者等の団体数(団体) ・環境イベントの参加者数合計(人) ・SDGs企業認証数(社) ・環境美化活動(市民清掃活動)の参加者数(人)
神奈川県横浜市	・温室効果ガス排出量の削減 ・エネルギー消費量の削減	・総排出量(ごみと資源の総量)の削減 ・ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの排出量の削減 ・更なる3Rの推進による最終処分量の削減 ・産業廃棄物の適正処理指導を徹底 ・市内各地域の特性に合わせた市民・事業者との連携による取組の推進	・多様な動植物などの生き物の生息・生育環境の保全の推進 ・市民が、身近な自然や生き物にふれあい、楽しむ機会の増加 ・生物多様性に配慮した行動を自らとる市民や企業等の増加 ・みどりの総量(緑被率)の維持、向上 ・緑地保全制度による樹林地の指定拡大 ・水循環機能の事業推進	・環境基準や水環境目標の達成率の向上及び継続的な達成 ・光化学スモッグ注意報の発令回数を0にする ・生物指標による水質評価の目標達成率を100%にする ・市民の生活環境に関する満足度の向上 ・生活環境の保全につながる環境行動の推進	・環境行動を実践する市民等の増加 ・市民・企業等と連携した地産地消の推進 ・市内産農畜産物の購入機会の拡大 ・農景観を良好に維持する活動の推進 ・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援
神奈川県川崎市	・温室効果ガス排出量 令和12(2030)年度までに平成2(1990)年度比30%以上削減、平成25(2013)年度比20%以上削減 ・再生可能エネルギー導入量 現状より増加すること ・温室効果ガス排出量 ・低公害低燃費車の普及台数 ・特定フン等の環境濃度 ・硫酸酸化物排出量 ・窒酸化物排出量 ・太陽エネルギー(太陽光・熱)利用量 ・年間平均気温 ・公共交通機関利用者数 ・自転車道総延長	・市民1人当たりの1日ごみ排出量 令和7(2025)年度までに市民1人当たりの1日ごみ排出量を898gまで削減 ・ごみ焼却量 令和7(2025)年度までにごみ焼却量を33万トンまで削減 ・資源化率(家庭系) 現状より増加すること ・ごみ焼却量 ・市民一人一日当たりのごみ排出量 ・資源化量 ・産業廃棄物量 ・産業廃棄物再生利用率	・緑地の保全面積 令和9年(2027)年度までに樹木値は300ha、農地は343ha ・公園緑地面積 令和9(2027)年度までに830ha ・市街地における緑化地面積 令和9(2027)年度までに1,082ha ・施策による地の保全面積 ・施策による農地の保全面積 ・緑化地面積 ・公園緑地面積(都市公園等の整備面積) ・公画管理運営協会の発足数 ・親水護岸整備延長 ・河川流量 ・自然観察会等実施状況 ・市内の動植物等確認種数 ・保全管理計画作成地区数 ・景観計画特定地区数 ・都市景観形成地区数 ・バリアフリー導入施設数 ・指定文化財等件数 ・公画緑地面積 ・レクリエーション施設の数	・二酸化窒素の対策目標値(環境基準)の下限值(0.04ppm)以下を達成した測定局数 対策目標値の下限值以下の達成局数の増加 ・微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準を達成した測定局数 全測定局の環境基準達成の維持 ・光化学オキシダント環境改善評価指標値 評価指標値の低減 ・河川のBOD 及び海域のCOD の環境基準値の適合地点数 河川のBOD 及び海域のCOD の環境基準値の適合地点数の増加 ・PRTR 制度対象事業所から排出される第一種指定化学物質の総排出量 現状を維持又は低減 ・透水性装道路面積 ・湧水地周辺整備数 ・河川流量 ・下水の高度処理普及率 ・市民一人一日当たりの生活用水使用量 ・大気汚染に係る境基準、環境 ・窒酸化物土量 ・粒子状物質質量 ・駐輪場数 ・水汚濁に係る境基準・環境 ・底質に含まれる汚染物質の量 ・工場・事業場における水汚 ・下水道普及率 ・地下水汚染に係る境基準達 ・土壌汚染の改善件数 ・地盤沈下量 ・土砂災害の発生件数 ・市内のPRTR法対象事業所 ・ダイオキシン類に係る環境基準達成状況 ・有害大気汚染物質に係る環境基準達成状況 ・騒音に係る環境基準達成状況 ・振動に係る苦情件数 ・悪臭の苦情件数 ・建造物影響に係る苦情件数	

政令指定都市	指標					その他
	温暖化対策	資源循環対策	自然保護対策	生活環境対策	参画対策	
神奈川県相模原市	・市域の二酸化炭素排出量(万tCO2) ・気候変動に伴う影響に備えている市民の割合(%)	・ごみ総排出量(t/年) ・最終処分量(t/年)	・生物多様性の認知度(%) ・緑地面積(ha) ・私有林の整備面積(ha)	・大気環境基準を達成した地点の割合(%) ・公共用水域及び地下水の環境基準を達成した地点の割合(%) ・騒音の環境基準を達成した地点の割合(%) ・化管法に基づく化学物質の環境への排出量(t) ・事業所などへの立入検査の実施回数(回)	・環境意識の醸成度(日常生活において環境に配慮している市民の割合)(%) ・環境学習講座の参加人数(人)	
新潟県新潟市	・市域の温室効果ガス排出量 ・もみ殻などのバイオマスエネルギーの活用 ・太陽光発電システム導入量(10kW未満) ・自動車利用の削減 ・1世帯あたりの電気使用量(年間)	・家庭系ごみ量 ・事業系ごみ排出量 ・リサイクル率 ・最終処分量	・生物多様性の象徴としてのハクチョウとの共存 ・特定外来生物の種類 ・環境保全型農業を実施する農地の割合 ・食育・花育センターが実施する花育体験プログラム等の実施団体数 ・保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 ・植栽やビオトープづくり等、美しい農村景観の形成を行う農地の割合	・生活環境における空気のきれいさ ・沿道における空気のきれいさ ・水がよりきれいなランクになった河川・湖沼の水域数		
静岡県静岡市	・市民及び事業者の電気使用量の削減量 ・市内の電気消費量に対する再生可能エネルギーの構成割合 ・防災スマート街区の形成 ・適応計画の策定	・一人1日当たりのごみ総排出量 ・最終処分場への埋め立て量	・南アルプス主要地域の高山植物種数の維持 ・市民一人当たりの都市公園面積	・事業者の公害法令順守率 ・生活排水処理率	・文化財保護事業に携わる市民ボランティア数 ・環境ボランティア数	
静岡県浜松市	・市域の温室効果ガス排出量の削減目標 ・電力自給率 ・市域の温室効果ガス排出量の削減目標基準年度比19%削減	・1人1日当たりの一般廃棄物排出量 ・リサイクル率 ・1人1日当たりの一般廃棄物排出量 ※本市人口により1日当たりの一般廃棄物排出量を算出 851g	・森林認証取得面積 ・緑地保全面積 ・緑地保全面積[2029(令和11)年度]3,931ha ※主として緑地の保全を目的とした法規制・条例により担保された緑地の面積	・市内の一般大気測定局及び自動車排ガス測定局のうち、大気環境基準値を達成した地点数 ・公共用水域における生活環境の保全に関する、環境基準を達成した測定地点数 ・佐鳴湖のCOD(化学的酸素要求量)※5ヶ年移動平均値 8mg/L以下	・環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合 ・環境学習指導者養成講座修了者 ・環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合67% ※市民アンケートによる、環境に配慮した暮らしを実践する市民の割合	
愛知県名古屋市の	・温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算値)(万吨) ・最終エネルギー消費量(PJ) ・日々の省エネに常に取り組む世帯の割合(%) ・二酸化炭素排出量(家庭)(万吨) ・二酸化炭素排出量(マイカー)(万吨) ・二酸化炭素排出量(業務用車)(万吨) ・二酸化炭素排出量(オフィス・店舗など)(万吨) ・二酸化炭素排出量(工場・その他)(万吨) ・駅そば生活圏人口比率(%) ・市内の鉄軌道及び市バスの1日当たり乗車人員合計(万人) ・市内主要地点の1日(平日)当たり自動車交通量の合計(万台) ・公共交通が便利で利用しやすいと思う市民の割合(%) ・歩行者と自転車のそれぞれが、安全で快適に通行していると感じている市民の割合(%) ・歩行者と自転車の通行空間が分離されている道路の延長(累計)(km) ・ZEV(EV、FCV、PHV)の普及台数(台) ・太陽光発電設備の導入件数(件) ・温室効果ガスの削減に取り組む市民の割合(%) ・生活に地球温暖化による影響が出ていると思う市民の割合(%) ・熱帯夜の日数(日) ・熱中症で搬送された人数(6～9月)(人) ・災害に強いまちづくりができていると思う市民の割合(%)	・ごみ・資源の総排出量(万吨) ・ごみの処理量(万吨) ・日常生活でごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合(%) ・ごみの埋立量(万吨) ・プラスチック類の総排出量(家庭系)(万吨) ・プラスチック製容器包装の資源分別率(家庭系)(%) ・紙製容器包装の資源分別率(家庭系)(%) ・雑がみの資源分別率(家庭系)(%) ・衣類・布類の資源分別率(家庭系)(%) ・事業用大規模建築物等への立入指導の実施件数(件) ・なごやか収集対象世帯数(件) ・発火性危険物等の混入によるごみ収集車・ごみ処理施設などの火災件数(件)	・暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている市民の割合(%) ・新たに確保された緑の面積(累計)(ha) ・生物多様性について言葉も意味も知っている市民の割合(%) ・グリーンウェイブの登録団体数(団体) ・緑被率(%) ・市民1人当たりの都市公園の面積(m²) ・名古屋の「みどり」が多いと思う市民の割合(%) ・名古屋の「みどり」に満足している市民の割合(%) ・親しみがある公園があると思う市民の割合(%) ・主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数(人) ・農家や企業等が新たに開設した市民農園の区画数(区画) ・身近な自然の調査・保全活動の参加者数(人) ・生物多様性に関する講座等の参加者数(人) ・レッドリスト掲載種数(種) ・市民1人当たりの都市公園の面積(m²) ・定着または確認されたことがある特定外来生物の種数(種) ・雨水の浸透・貯留率(%) ・雨水の蒸発散率(%) ・雨水の直接流出率(%)	・名古屋は大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などによる公害の心配がないまちと思う市民の割合(%) ・大気環境目標値の達成率(二酸化窒素)(%) ・水質の環境目標値の達成率(BOD)(%) ・自動車騒音の環境基準の達成率(幹線道路全体)(%) ・名古屋の空気がきれいだと思う市民の割合(%) ・大気汚染関係の苦情件数(件) ・名古屋の河川の水がきれいだと思う市民の割合(%) ・水質汚濁関係の苦情件数(件) ・土壌汚染対策法・市環境保全条例に基づく新たな汚染の報告件数(件) ・土壌汚染対策法・市環境保全条例に基づく指定区域数(区域) ・1cm以上の地盤沈下域面積(km²) ・騒音関係の苦情件数(件) ・振動関係の苦情件数(件) ・悪臭関係の苦情件数(件) ・ダイオキシン類の環境基準達成率(%) ・化管法に基づく化学物質の届出排出量の合計(トン) ・土壌汚染対策法・市環境保全条例に基づく指定区域数(%) ・法律に基づく認定患者数(人) ・条例に基づく認定患者数(人)	・環境問題の解決には、市民自らが行動することが必要と強く思う市民の割合(%) ・なごやSDGsグリーンパートナーズ登録認定数(累計)(件) ・市民団体、事業者、教育機関など「なごや環境大学」を支える団体数(累計)(団体) ・環境学習センターの利用者数(人) ・環境に関する情報発信が十分と感じている市民の割合(%) ・商品購入時に、環境情報(ラベルや説明文)を参考にしている市民の割合(%) ・フェアトレードを言葉も意味も知っている市民の割合(%) ・省エネルギー等環境に配慮した事業活動に取り組んだ市内中小企業の割合(%) ・市民団体、事業者、教育機関などによる「なごや環境大学」の共育講座数(講座)	

政令指定都市	指標					
	温暖化対策	資源循環対策	自然保護対策	生活環境対策	参画対策	その他
京都府京都市	・ 温室効果ガス排出量削減率 ・ エネルギー消費量削減率 ・ 再生可能エネルギー導入率	・ 一般廃棄物の市受入量 ・ ごみ焼却量	・ 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組み団員数	・ 大気汚染に係る市保全基準達成状況 ・ 水質汚染に係る市保全基準達成状況	・ 環境保全プログラム参会者数 ・ 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組み団体数(再掲) ・ KES認証保有件数	
大阪府大阪市	・ 温室効果ガス排出量 ・ 緑被率	・ ごみ処理(焼却)量 ・ ワンウェイのプラスチック(容器包装等)排出量	・ 自然や生き物を身近に感じる市民の割合	・ 大気環境に係る環境基準達成 ・ 水環境に係る環境基準達成 ・ ダイオキシン類に係る環境基準達成 ・ 騒音に係る環境基準達成		・ 地球温暖化の影響を除外した熱帯夜日数(5年移動平均)
大阪府堺市	・ 市域全体のCO2排出量	・ 一般廃棄物総排出量 ・ 清掃工場搬入量 ・ 一般廃棄物最終処分量	・ 生物多様性の認知度 ・ いきもの発見報告件数	・ 環境基準達成度		
兵庫県神戸市	・ 市域全体としての最終エネルギー消費量の削減目標(2005年度比) ・ 再生可能エネルギー等に関する導入目標	・ 家庭系ごみ(資源物を除く)1人1日当たりの排出量を2013年度実績に対し10%削減(目標年次2025年度) ・ 事業系ごみ(一般廃棄物)排出総量を 2013年度実績に対し10%削減(目標年次 2025年度)	・ 今見られる神戸の生きもの種数を維持する	・ 法令で定められた及び神戸市が自ら定める基準(大気質、水質、土壌、騒音等)の達成		
岡山県岡山市	・ 市内の太陽光発電システム設置件数 ・ 市民共同発電所の個所数 ・ 地球温暖化防止行動の実践度 ・ ライトダウンキャンペーン期間中に市域で削減するCO2量 ・ 市所有施設への太陽光発電システム設置件数 ・ JR岡山駅の一日あたりの乗降客数 ・ 公用車への電気自動車の導入 ・ 公共の電気自動車充電設備の設置基数 ・ 浸水対策実施済み割合	・ 市民1人1日あたりのごみ排出量 ・ 家庭系ごみの排出原単位 ・ 事業系ごみの排出原単位 ・ 資源化率 ・ 埋め立て処分率 ・ 建設廃棄物の再利用率 ・ 建設発生土の利用率 ・ 東部・西部リサイクルプラザ来場者数 ・ ごみゼロ週間に公民館で開催する関連講座への参加者数	・ 農業用水路の浚渫・藻刈を実施する地元組織数 ・ リフレッシュ瀬戸内の参加者数 ・ 森林や原野の割合 ・ エコファーマーの認定者数 ・ アユモドキの実際調査対象地域の拡大 ・ ホタルの生息地 ・ 長江川における緩傾斜護岸の整備 - 事業進捗率 ・ 倉安川における事前石護岸の整備 - 事業進捗率 ・ 身近な生き物の里認定地区数 ・ 地域環境教室の新規実施地区数(再掲) ・ 自然体験・文化伝承に関する公民館講座数 ・ 西川・枝川緑道公園の利用者数 ・ 公園・緑地の整備や緑化推進の満足度 ・ ごみのポイ捨て数 ・ 屋外広告物モデル地区指定数 ・ 景観形成重点地区指定数 ・ 地区計画決定地区数 ・ 市並み修景助成事業の実施状況 ・ 文化財の親しみ度 ・ 史跡指定地の増加と整備事業の推進 ・ 文化振興や歴史保存活用の満足度 ・ 文化活動を行う市民の割合	・ 有害大気汚染物質の環境基準 ・ ダイオキシン類の環境基準 ・ 騒音の環境基準 ・ 道路騒音、振動 ・ 大気汚染防止法の規制 ・ 工場、事業場に対する立入検査実施率 ・ 悪臭測定検体数 ・ 臭気指数規制の導入 ・ 化学物質に対するリスクコミュニケーションに取組む工場、事業場数 ・ ダイオキシン類対策特別措置法の規制工場、事業場に対する立入検査実施率 ・ 児島湖の水質 ・ 海域の水質 ・ 汚水処理人口普及率 ・ 浄化用水導入量 ・ 水路内緑化施設の整備箇所 ・ 事業場排水等の監視	・ 地域環境教室の新規実施地区数 ・ めだかの学校環境講座の年間参加者数 ・ 親子環境学習サマースクールによる自然体験や環境への理解の深まり度 ・ 自然体験リーダー養成講座了者の自然体験 ・ リーダーズクラブ登録者 ・ 公民館で開催される環境学習講座の数 ・ エコ公民館 ・ 取組数 ・ おかやまミュージアム(地域まるごと博物館)への参加人数 ・ 全小学校区におけるESDの実施率 ・ ESDプロジェクトの参加組織数 ・ 愛の泉善行賞の表彰数 ・ 環境パートナーシップ事業に参加する市民の割合 ・ 環境パートナーシップ事業に参加する事業者数 ・ 用品特別会計におけるグリーン購入達成率	

政令指定都市	指標					
	温暖化対策	資源循環対策	自然保護対策	生活環境対策	参画対策	その他
広島県広島市	・温室効果ガス排出量(平成29年度)821.4万t-CO2減少 ・エネルギー使用量(原油換算)(平成29年度)289.6万kℓ減少 ・中国電力株式会社のCO2実排出係数＊(平成30年度)0.618kg-CO2/kWh減少	・1人1日当たりのごみ排出量(ごみ総排出量)(令和元年度)853g/人日(373.213t/年)減少 ・産業廃棄物最終処分量(平成30年度)9.3万t/年減少	・自然との触れ合い施設等の利用者数(令和元年度)1,032,415人増加 ・自然との触れ合い事業の参加者数(令和元年度)26,560人増加 ・絶滅のおそれのあるもの(平成18年※2)269種減少(絶滅のおそれがなくなる) ・環境指標種＊(平成18年※2)49種— ・かき(殻付き)養殖生産量(平成30年)21,804t維持 ・イノシシ等による農林業等に係る被害額(令和元年度)4,482万円減少 ・森林面積(平成30年)60,337ha維持 ・間伐面積(令和元年度)277ha増加 ・林業従事者数(平成27年)230人増加 ・森林ボランティアの活動者数(令和元年度)3,891人増加 ・経営耕地面積(平成27年)1,721ha維持 ・耕作放棄地面積(平成27年)492ha減少 ・農業従事者数(販売農家＊)(平成27年)3,971人維持 ・新規就農者の育成人数(令和元年度)344人増加 ・河岸緑地の整備済延長(令和元年度末)26.9km増加 ・市街化区域における緑の面積の割合(令和元年度)21.5%維持 ・公園緑地面積(令和元年度末)986.6ha増加 ・建築物等景観協議・届出＊累計件数(令和元年度末)14,004件増加 ・クリーンボランティア参加者数(令和元年度)113,278人増加 ・不法投棄件数(令和元年度)85件減少 ・公共交通機関全体の利用者数(平成30年度)59.9万人/日増加 ・次世代自動車の登録台数割合(平成30年度)20.6%増加	・二酸化硫黄100%(4局)維持 ・二酸化窒素100%(11局)維持 ・一酸化炭素100%(2局)維持 ・浮遊粒子状物質100%(11局)維持 ・PM2. 5(微小粒子状物質)100%(11局)維持 ・光化学オキシダント0%(0/7局)増加 ・汚水処理人口普及率(令和元年度末)96.8%増加 ・人の健康の保護に関する項目(河川)100%(27地点)維持 ・人の健康の保護に関する項目(海域)100%(8地点)維持 ・生活環境の保全に関する項目(河川のBOD)100%(20水域)維持 ・生活環境の保全に関する項目(海域のCOD)0%(0/4水域)増加 ・ダイオキシン類100%(29地点)維持 ・有害大気汚染物質※100%(4地点)維持 ・自動車騒音96%(約14万3千/約14万9千戸)増加 ・鉄道騒音(新幹線)75%(9/12地点)増加		・大気中のフロン濃度 ・CFC11 10.24ppb減少 ・CFC12 0.52ppb減少 ・CFC113 0.065ppb減少 ・雨水の水素イオン濃度指数(pH)平均値(令和元年度)4.57上昇(酸性化の緩和) ・中山間地・島しょ部(山村振興法及び離島振興法の指定地域並びに農業地域類型における中山間農業地域)の人口減少率(平成30年度)0.8%/年(85,404人)維持 ・自転車走行空間整備済路線の延長(平成30年度)6.7km増加 ・避難誘導アプリダウンロード数(令和2年度開始)増加 ・容器包装プラスチック・ペットボトルの資源化率(平成元年度)77.8%増加 ・救急搬送熱中症患者数(令和元年度)509人減少 ・浸水常襲地区の床上・床下浸水解消率(令和元年度)45%増加
福岡県北九州市	・市域のCO2排出量 ・市域のエネルギー消費量 ・市域の再生可能エネルギー等導入量 ・アジア地域でのCO2排出削減量	・市民1人一日あたりの家庭ごみ量 ・リサイクル率 ・産業廃棄物最終処分率	・自然公園面積	・大気質・水質の環境基準達成状況	・本市の環境政策の市民の認知度・満足度 ・市民の環境リテラシー(リテラシー:与えられた材料から必要な情報を引き出し、活用する能力) ・市内の環境産業の売上高 ・環境産業の雇用者数	・国内・海外からの環境首都・北九州市の認知度 ・都市のDID(Densely Inhabited District:人口集中地区)面積
福岡県福岡市	・家庭部門における1世帯当たりエネルギー消費量 ・業務部門における延床面積あたりのエネルギー消費量 ・再生可能エネルギー設備導入量 ・都市部における緑被面積	・ごみ処理量 ・ごみのリサイクル率 ・不法投棄処理量	・全市域における緑被面積 ・農地面積、森林面積 ・環境基準(博多湾、河川水質)の達成率 ・カブトガニの卵塊・幼生数 ・生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	・環境基準(大気質・有害大気汚染物質・自動車騒音・ダイオキシン類)の達成率 ・市民のマナーに対する満足度	・視察・研修受入数	・自転車放置率 ・1日あたりの鉄道・バス乗車人員 ・公共交通の便利さへの評価 ・都心部への自動車の流入台数 ・市民1人あたりの水使用量 ・身近な緑への満足度 ・地域の公園への親しみ度 ・福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合 ・学校給食への市内産農産物利用割合(野菜) ・背振少年自然の家延利用者数 ・農林業ふれあい施設年間利用者数 ・海づり公園利用者数
熊本県熊本市	・温室効果ガス削減率 ・公共交通機関利用者数 ・市民一世帯あたりのCO2排出量	・市民一人が一日に出すごみの量 ・家庭ごみのリサイクル率 ・年間のごみ埋立処分量	・街なかに緑が多いと感じる市民の割合 ・生物多様性について知っている市民の割合 ・地域の特色あるまちなみに関する満足度 ・良好な居住環境が保たれていると感じる市民の割合 ・熊本城復元整備基金への募集額 ・熊本城入園者数	・良好な環境が守られていると感じる市民の割合 ・地下水が市民共有の財産として守られていると感じる市民の割合 ・事業場公害苦情発生件数 ・水質汚濁事故発生件数及び排水基準違反件数 ・大気環境基準達成率 ・二酸化窒素濃度 ・微小粒子状物質年平均 ・自動車騒音環境基準達成率 ・大気中のダイオキシン類濃度 ・測定計画調査数達成率 ・地下水人工かん養量 ・地下水採取量 ・市民一人あたりの生活用水使用量 ・地下水の硫酸性窒素の環境基準超過井戸の割合	・文化活動に参加した市民の割合	・市民意識調査(日頃、環境保全のための実践活動を行っていますか。、環境について学ぶ機会が増えてきたと感じますか。、日頃、地域の環境保全活動(例:清掃活動、ごみステーションの管理、事前観察会等)に参加していますか。、環境保全に係るまちづくりの活動が増えてきたと感じますか)